

福井県後期高齢者医療広域連合告示第15号

地方自治法（昭和22年法律第67号）第292条において準用する同法第243条の3第1項及び福井県後期高齢者医療広域連合の財政状況の作成及び公表に関する条例（平成19年条例第19号）第3条第2項の規定に基づき、平成24年4月1日から平成24年9月30日までの財政状況及び平成23年度の決算の概況を、次のとおり公表する。

平成24年12月3日

福井県後期高齢者医療広域連合長 東村 新一

1 歳入歳出予算の執行の概況

(1) 平成24年度一般会計（平成24年9月30日現在）

【歳入】 (単位：千円、%)

区分（款）	予算現額 A	収入済額 B	収入率 B/A
1 分担金及び負担金	490,606	245,320	50.0
2 国庫支出金	186	0	0.0
4 繰越金	1	42,805	4,280,500.0
5 諸収入	30	0	0.0
合計	490,823	288,125	58.7

【歳出】 (単位：千円、%)

区分（款）	予算現額 A	支出済額 B	執行率 B/A
1 議会費	1,439	40	2.8
2 総務費	160,196	72,211	45.1
3 民生費	326,786	0	0.0
4 諸支出金	1	0	0.0
5 予備費	2,401	0	0.0
合計	490,823	72,251	14.7

(2) 平成24年度後期高齢者医療特別会計（平成24年9月30日現在）

【歳入】

(単位:千円、%)

区分(款)	予算現額 A	収入済額 B	収入率 B/A
1 市町支出金	15,405,376	6,325,024	41.1
2 国庫支出金	31,777,108	18,726,719	58.9
3 県支出金	7,978,681	5,072,237	63.6
4 支払基金交付金	39,797,055	16,352,894	41.1
5 特別高額医療費共同事業交付金	18,000	0	0.0
6 財産収入	2,226	577	25.9
8 繰入金	1,844,385	0	0.0
9 繰越金	1,109	902,791	81,405.9
11 諸収入	5	85,349	1,706,980.0
合計	96,823,945	47,465,591	49.0

【歳出】

(単位:千円、%)

区分(款)	予算現額 A	支出済額 B	執行率 B/A
1 総務費	368,682	121,752	33.0
2 保険給付費	96,096,361	40,459,441	42.1
3 県財政安定化基金拠出金	87,929	0	0.0
4 特別高額医療費共同事業拠出金	18,000	0	0.0
5 保健事業費	204,949	0	0.0
6 基金積立金	2,226	577	25.9
7 公債費	1	0	0.0
8 諸支出金	25,797	6,200	24.0
9 予備費	20,000	0	0.0
合計	96,823,945	40,587,970	41.9

2 財産、地方債及び一時借入金の概況

(1) 財産

①公有財産 平成24年9月末現在所有なし

②基金 平成24年9月末現在高

後期高齢者医療制度臨時特例基金 936,732,113円

療養給付費等準備基金 2,673,225,186円

(2) 地方債 平成24年9月末現在借入なし

(3) 一時借入金 平成24年9月末現在借入なし

3 平成23年度決算の概況

(1) 一般会計決算の概要

①決算規模及び収支の状況

平成23年度における一般会計の歳入及び歳出の決算規模は、第1表の1及び第1表の2のとおりである。

(第1表の1) 前年度決算額との比較 (単位：円、%)

年度等 区分	決算額 A	前年度 決算額 B	対前年度比	
			増減額 C (A-B)	増減率 C/B
歳入	491,834,963	527,015,450	△35,180,487	△6.7
歳出	449,029,917	490,166,524	△41,136,607	△8.4
差引	42,805,046	36,848,926	5,956,120	16.2

(第1表の2) 予算現額との比較 (単位：円、%)

年度等 区分	予算現額 A	決算額 B	差引額 A-B	執行率 B/A
歳入	491,810,000	491,834,963	△24,963	100.0
歳出	491,810,000	449,029,917	42,780,083	91.3

平成23年度の決算額は、歳入4億9,183万4,963円、歳出4億4,902万9,917円で、歳入歳出差引額は4,280万5,046円となった。

また、予算現額との差引額は、歳入で△2万4,963円、歳出で4,278万83円であった。

歳出の執行率が91.3%であった主な原因は、医療費通知を封書からハガキに変更したことで郵送料金が減ったこと等により、特別会計への繰出金に2,103万9,017円の不用額が生じたことに加え、新制度への移行が見送られたため、職員の時間外勤務が見込みよりも少なくなったこと、人材派遣会社からの派遣職員を

減員したこと等で、総務管理費に1,959万8,262円の不用額が生じたためである。

②歳入の状況

平成23年度の歳入決算額は、4億9,183万4,963円で、前年度決算額と比較して3,518万487円の減（第2表の1）となった。

歳入決算額の主な内訳をみると、分担金及び負担金が4億5,469万9,214円、繰越金が3,684万8,926円となっている。

前年度決算額と比較して減となった主な要因としては、市町負担金が782万3,000円、前年度繰越金が2,707万176円の減額となったこと等によるものである。

（第2表の1） 前年度決算額との比較

（単位：円、％）

区分	決算額 A	決算額 構成比	前年度 決算額 B	対前年度比	
				増減額 C (A-B)	増減率 C/B
1 分担金及び負担金	454,699,214	92.5	462,522,214	△7,823,000	△1.7
2 国庫支出金	109,000	0.0	244,260	△135,260	△55.4
4 繰越金	36,848,926	7.5	63,919,102	△27,070,176	△42.4
5 諸収入	177,823	0.0	329,874	△152,051	△46.1
合計	491,834,963	100.0	527,015,450	△35,180,487	△6.7

（第2表の2） 予算現額との比較

（単位：円、％）

区分	予算現額 A	調定額 B	決算額 C	収入未済額 B-C	予算現額と 決算額との 比較 C-A
1 分担金及び負担金	454,700,000	454,699,214	454,699,214	0	△786
2 国庫支出金	165,000	109,000	109,000	0	△56,000
4 繰越金	36,850,000	36,848,926	36,848,926	0	△1,074
5 諸収入	95,000	177,823	177,823	0	82,823
合計	491,810,000	491,834,963	491,834,963	0	24,963

③歳出の状況

平成23年度の歳出決算額は、4億4,902万9,917円で、前年度決算額と比較して4,113万6,607円の減(第3表の1)、不用額は4,278万83円(第3表の2)となった。

歳出決算額の内訳をみると、議会費が121万9,518円、職員給与費をはじめとする広域連合運営経費の総務費が1億4,801万5,490円、特別会計への繰出金である民生費が2億6,294万5,983円、諸支出金が3,684万8,926円となっている。

前年度決算額と比較して減となった主な要因としては、議会費が29万9,571円、総務費が9万7,196円増加したが、特別会計への繰出金が1,446万3,198円、前年度決算剰余金を市町に返還するための償還金が2,707万176円減額したためである。

予算現額に対する執行率及び不用額は、議会費が84.3%で22万7,482円、総務費が88.3%で1,964万510円、民生費が92.6%で2,103万9,017円、諸支出金が100.0%で1,074円となっている。

また、予備費は執行しなかった。

(第3表の1) 前年度決算額との比較

(単位：円、%)

区分	決算額 A	決算額 構成比	前年度 決算額 B	対前年度比	
				増減額 C (A-B)	増減率 C/B
1 議会費	1,219,518	0.3	919,947	299,571	32.6
2 総務費	148,015,490	33.0	147,918,294	97,196	0.1
3 民生費	262,945,983	58.5	277,409,181	△14,463,198	△5.2
4 諸支出金	36,848,926	8.2	63,919,102	△27,070,176	△42.4
5 予備費	0	0	0	—	—
合計	449,029,917	100.0	490,166,524	△41,136,607	△8.4

(第3表の2) 予算現額との比較

(単位：円、%)

区分	予算現額 A	決算額 B	不用額 A-B	執行率 B/A
1 議会費	1,447,000	1,219,518	227,482	84.3
2 総務費	167,656,000	148,015,490	19,640,510	88.3
3 民生費	283,985,000	262,945,983	21,039,017	92.6
4 諸支出金	36,850,000	36,848,926	1,074	100.0
5 予備費	1,872,000	0	1,872,000	-
合計	491,810,000	449,029,917	42,780,083	91.3

(2) 後期高齢者医療特別会計決算の概要

①決算規模及び収支の状況

平成23年度における特別会計の歳入及び歳出の決算規模は、第4表の1及び第4表の2のとおりである。

(第4表の1) 前年度決算額との比較

(単位：円、%)

年度等 区分	決算額 A	前年度 決算額 B	対前年度比率	
			増減額 C (A-B)	増減率 C/B
歳入	94,186,898,495	92,734,599,971	1,452,298,524	1.6
歳出	93,284,107,688	91,785,161,416	1,498,946,272	1.6
差引	902,790,807	949,438,555	△46,647,748	△4.9

(第4表の2) 予算現額との比較

(単位：円、%)

年度等 区分	予算現額 A	決算額 B	差引額 A-B	執行率 B/A
歳入	95,586,446,000	94,186,898,495	1,399,547,505	98.6
歳出	95,586,446,000	93,284,107,688	2,302,338,312	97.6

平成23年度の決算額は、歳入941億8,689万8,495円、歳出932億8,410万7,688円で、歳入歳出差引額は9億279万807円となった。

この差引額については、国、県及び市町の療養給付費負担金並びに社会保険診療報酬支払基金からの後期高齢者交付金の過不足を精算し、平成24年度にそれぞれに剰余金は返還、不足分は追加交付の受入れ及び療養給付費等準備基金の取り崩しにより調整することとする。

また、予算現額との差引額は、歳入で13億9,954万7,505円、歳出で23億233万8,312円であった。

歳出については、療養給付費等に要する経費が当初の見込みを下回ったこと等

によるものである。

歳入については、療養給付費の減に伴い、社会保険診療報酬支払基金からの後期高齢者交付金が減額されたこと、また、療養給付費等準備基金からの保険料抑制分の繰り入れが当初の見込みほど必要なかったことによるものである。

②歳入の状況

平成23年度の歳入決算の総額は、941億8,689万8,495円で、前年度決算額と比較して14億5,229万8,524円の増（第5表の1）、予算現額と比較して13億9,954万7,505円の減（第5表の2）となった。

歳入決算額の主な内訳をみると、市町支出金が150億2,080万9,915円、国庫支出金が310億5,811万3,656円、県支出金が77億5,484万8,001円、支払基金交付金が382億3,905万円、繰入金が9億6,804万4,028円、繰入金が9億4,943万8,555円となっている。

予算現額と比較して減となった主な要因は、前述のとおり、社会保険診療報酬支払基金からの交付金の減額、療養給付費等準備基金からの繰り入れが見込みよりも少なくなったことによるものである。

（第5表の1） 前年度決算額との比較

（単位：円、％）

区分	決算額 A	決算額 構成比	前年度 決算額 B	対前年度比	
				増減額 C (A-B)	増減率 C/B
1 市町支出金	15,020,809,915	16.0	14,496,769,620	524,040,295	3.6
2 国庫支出金	31,058,113,656	33.0	30,141,745,254	916,368,402	3.0
3 県支出金	7,754,848,001	8.2	7,430,431,849	324,416,152	4.4
4 支払基金交付金	38,239,050,000	40.6	36,859,712,000	1,379,338,000	3.7
5 特別高額医療 費共同事業交付金	17,743,494	0.0	12,542,053	5,201,441	41.5
6 財産収入	1,722,886	0.0	2,993,115	△1,270,229	△42.4
8 繰入金	968,044,028	1.0	957,340,850	10,703,178	1.1
9 繰越金	949,438,555	1.0	2,743,063,668	△1,793,625,113	△65.4
11 諸収入	177,127,960	0.2	90,001,562	87,126,398	96.8
合計	94,186,898,495	100.0	92,734,599,971	1,452,298,524	1.6

(第5表の2) 予算現額との比較

(単位：円、%)

区分	予算現額 A	調定額 B	決算額 C	収入 未済額 B-C	予算現額と決 算額との比較 C-A
1 市町支出金	15,044,253,000	15,020,809,915	15,020,809,915	0	△23,443,085
2 国庫支出金	31,004,666,000	31,058,113,656	31,058,113,656	0	53,447,656
3 県支出金	7,643,843,000	7,754,848,001	7,754,848,001	0	111,005,001
4 支払基金交付金	39,262,756,000	38,239,050,000	38,239,050,000	0	△1,023,706,000
5 特別高額医療 費共同事業交付金	9,529,000	17,743,494	17,743,494	0	8,214,494
6 財産収入	1,724,000	1,722,886	1,722,886	0	△1,114
8 繰入金	1,670,230,000	968,044,028	968,044,028	0	△702,185,972
9 繰越金	949,440,000	949,438,555	949,438,555	0	△1,445
1 1 諸収入	5,000	177,127,960	177,127,960	0	177,122,960
合計	95,586,446,000	94,186,898,495	94,186,898,495	0	△1,399,547,505

③歳出の状況

平成23年度の歳出決算の総額は、932億8,410万7,688円で、前年度決算額と比較して14億9,894万6,272円の増(第6表の1)、不用額は23億233万8,312円(第6表の2)となった。

歳出の決算額の内訳をみると、医療費通知や電算システム構築等業務委託料等の事務的経費として、総務費が3億181万7,226円、療養給付費や高額療養費、葬祭費、審査支払手数料等の保険給付費が912億9,527万2,368円、県財政安定化基金への広域連合負担分(負担割合3分の1)である拠出金が8,176万444円、市町が行う健康診査事業への補助金である保健事業費が1億4,197万3,424円、国からの円滑運営臨時特例交付金の基金積立金及び保険料剰余金を積み立てる療養給付費等準備基金積立金が5億8,233万9,038円、保険料還付金や国・県・市町等に対する償還金等の諸支出金が8億6,376万5,849円となっている。また、公債費及び予備費は執行しなかった。

予算現額に対する執行率及び不用額は、総務費が92.4%で2,492万1,774円、保険給付費が97.6%で22億381万9,632円、県財政安定化基金拠出金が100.0%で556円、特別高額医療費共同事業拠出金が95.9%で74万1,706円、保健事業費が71.7%で5,615万8,576円、基金積立金が100.0%で1,962円、諸支出金が99.8%

で168万5,106円となっている。

保健事業費の執行率が低かったのは、健康診断の受診者が当初の見込みよりも減ったためである。

(第6表の1) 前年度決算額との比較

(単位：円、%)

年度等 区分	決算額 A	前年度 決算額 B	対前年度比率	
			増減額 C (A-B)	増減率 C/B
1 総務費	301,817,226	307,992,905	△6,175,679	△2.0
2 保険給付費	91,295,272,368	87,855,000,465	3,440,271,903	3.9
3 県財政安定化 基金拠出金	81,760,444	81,760,444	0	0
4 特別高額医療費 共同事業拠出金	17,179,294	17,899,987	△720,693	△4.0
5 保健事業費	141,973,424	89,935,031	52,038,393	57.9
6 基金積立金	582,339,038	1,671,501,394	△1,089,162,356	△65.2
7 公債費	0	0	0	—
8 諸支出金	863,765,894	1,761,071,190	△897,305,296	△51.0
9 予備費	0	0	0	—
歳出合計	93,284,107,688	91,785,161,416	1,498,946,272	1.6

(第6表の2) 予算現額との比較

(単位：円、%)

区分	予算現額 A	決算額 B	不用額 A-B	執行率 B/A
1 総務費	326,739,000	301,817,226	24,921,774	92.4
2 保険給付費	93,499,092,000	91,295,272,368	2,203,819,632	97.6
3 県財政安定化 基金拠出金	81,761,000	81,760,444	556	100.0
4 特別高額医療費 共同事業拠出金	17,921,000	17,179,294	741,706	95.9
5 保健事業費	198,132,000	141,973,424	56,158,576	71.7
6 基金積立金	582,341,000	582,339,038	1,962	100.0
7 公債費	1,000	0	1,000	0
8 諸支出金	865,451,000	863,765,894	1,685,106	99.8
9 予備費	15,008,000	0	15,008,000	0
歳出合計	95,586,446,000	93,284,107,688	2,302,338,312	97.6